

▶▶「返品本」が半額のサイト

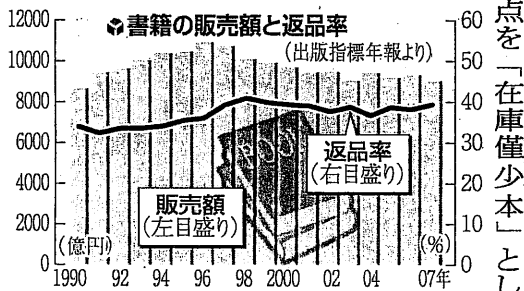


「初版発売後1年以上たっているが新品」である本を定価の半額で買えるインターネットサイトが注目されています。(古岡三枝子)

Q どのサイトなの？

A 小学館や集英社などの書籍の物流会社、昭和図書(東京)が2007年3月から始めた「ブックハウス神保町.com」。今では

絵本など児童書人気



講談社、文芸春秋なども含めた計約40社が賛同し、書店から返品され、絶版決定前の書籍のうち、約8000点を「在庫僅少本」とし

て扱っている。商品は半年ごとに見直すという。

Q 書籍は再販制度で定価販売が原則では？

A サイトは、制度の弾力的運用に当たる。出版社が読者サービスとして、書籍、期間を限定して制度の枠を外した。背景に、書籍の売り上げ減少、返品率約4割という現状がある。昭和図書は年々、返品率は年間約8億冊、うち2億冊が断裁処分されているという。処分するくらいなら、半値にしてでも読者の目に触れる機会を、という狙いだ。

Q どんな本が買える？

A 雑誌やコミックは扱っていないが、小説や実用書、辞典などをそろえ、絵本など児童書が人気という。

Q どうしてなの？

A 出版業界が年2回、ネット上で開く期間限定の値引き「謝恩価格本フェア」でも、児童書がよく売れるという。児童書は流行に左右されにくい。反面、新刊を中心にそろえる書店では長く並べておくのは難しいという事情がある。このサイトで、思わぬ掘り出し物が見つけれられるかもね。